



③生活応援給付金事業		福祉政策課									
対象者	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う国の経済対策により、緊急小口資金等の特例貸付の申請期限が、令和4年6月末から8月末に延長されたことに伴い、生活応援給付金の申請期限も延長するもの</p> <p>●支給対象者 令和4年4月から8月末までに鹿屋市社会福祉協議会の「緊急小口資金」や「総合支援資金」又は市の「住居確保給付金」のいずれかの貸付又は給付が決定した(初回のみ)世帯</p> <p>●支給額等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>支給額</th> <th>対象世帯見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単身世帯</td> <td>3万円</td> <td>36世帯</td> </tr> <tr> <td>2人以上世帯</td> <td>5万円</td> <td>48世帯</td> </tr> </tbody> </table>		対象	支給額	対象世帯見込	単身世帯	3万円	36世帯	2人以上世帯	5万円	48世帯
対象	支給額	対象世帯見込									
単身世帯	3万円	36世帯									
2人以上世帯	5万円	48世帯									
申請期間	令和4年8月31日まで										
事業費	3,741千円(交付金:3,680千円、事務費:61千円、財源:国※10/10)										

※地方創生臨時交付金

④子育て世帯生活支援特別給付金給付事業		子育て支援課															
対象者	<p>●支給対象者</p> <p>①令和4年4月分の児童扶養手当受給者(ひとり親世帯)</p> <p>②令和4年度分の市民税均等割が非課税である子育て世帯</p> <p>③家計急変子育て世帯(新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、非課税世帯と同様の事情にあると認められる者)</p> <p>※対象児童:18歳年度末までの子(障害児については20歳未満)</p> <p>※令和4年4月~令和5年2月末までに生まれた新生児も対象</p> <p>●支給額 児童1人あたり一律5万円</p> <p>●支給対象者数見込</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>対象世帯数</th> <th>対象児童数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①R4.4月分児童扶養手当受給者</td> <td>1,340世帯</td> <td>2,210人</td> </tr> <tr> <td>②市民税非課税世帯</td> <td>550世帯</td> <td>1,210人</td> </tr> <tr> <td>③家計急変者(新生児等含む)</td> <td>480世帯</td> <td>900人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,370世帯</td> <td>4,320人</td> </tr> </tbody> </table>		対象者	対象世帯数	対象児童数	①R4.4月分児童扶養手当受給者	1,340世帯	2,210人	②市民税非課税世帯	550世帯	1,210人	③家計急変者(新生児等含む)	480世帯	900人	合計	2,370世帯	4,320人
対象者	対象世帯数	対象児童数															
①R4.4月分児童扶養手当受給者	1,340世帯	2,210人															
②市民税非課税世帯	550世帯	1,210人															
③家計急変者(新生児等含む)	480世帯	900人															
合計	2,370世帯	4,320人															
支給時期	<p>①の対象者:令和4年6月15日から支給開始</p> <p>①以外の対象者:6月中旬以降順次支給を予定</p>																
事業費	220,000千円(給付金:216,000千円、事務費:4,000千円、財源:国10/10)																

⑤事故の和解に伴う損害賠償の支払に要する経費・・・30,834千円